

## 総務文教常任委員会

委員長 義浩  
 副委員長 一英  
 委員 子貫 美智 智子 貫夫 幸高 泰正  
 大山 小林 黒林 閑野 小島

熊谷市立体育施設条例の一部を改正する条例について

**問** 東部体育館の取り壊し時期について伺いたい。

**答** 熊谷市個別施設計画では令和3年度に除却となっており、来年度にできるだけ速やかに取り壊しを行いたいと考えている。  
 (スポーツ観光課)

熊谷市火災予防条例の一部を改正する条例について

**問** 電気自動車等を充電するための急速充電設備について、今後の普及を想定し、その設置場所、構造、管理等に関する基準を追加することのことが、該当設備は市内に何箇所あるのか伺いたい。

**答** 市内17カ所に設置され、市の施設に2カ所、県の施設に1カ所、それ以外に民間施設・店舗に14カ所設置されている。

(予防課)

工事請負契約の締結について(熊谷市立文化センター文化会館棟空調設備改

修工事)について

**問** ガスヒートポンプエアコンと電気ヒートポンプエアコンを併用させた理由を伺いたい。

**答** 文化会館棟はガスヒートポンプエアコンが主体となるが、2階の1部屋のみ電気ヒートポンプエアコンと併用する。その理由として、この部屋はホール内と同系統の空調となるが、ホールを使用していないときにも同部屋を使用することがあること、音響機器等からの放熱により、同部屋の空調の効きが悪かったことから、簡易な電気式のもの個別に追加設置することとした。

**問** 文化センターの改修工事等について、平成29年度の耐震補強工事からこれまでどのくらいの費用がかかったのか伺いたい。

**答** 工事の合計金額は約8億4千万円で、その工事内容は、平成29年度に文化センター耐震補強工事、図書館棟空調設備改修工事、トイレ改修工事等を実施し、翌30年度に直流電源装置の更新工事、令和2年度は文化会館舞台機構設備の改修工事を行ったものである。  
 (営繕課、文化センター)

## 環境産業常任委員会

委員長 広己  
 副委員長 政幸  
 委員 昇也 昇也 昇也 昇也 昇也  
 石川 沼上 原山 栗影 中島 白根

熊谷市営駐車場条例の一部を改正する条例について

**問** 駐車料金の改定がこの時期になつた理由を伺いたい。

**答** 国への償還金が平成30年度をもって完済となり、令和元年8月に駐車料金の徴収期間変更について、国の手続きが完了したことから、その後、駐車料金改定の検討、調査等を開始したためである。

**問** 駐車料金の改定の周知は、どのように行つたのか伺いたい。

**答** 市報・市ホームページに掲載するとともに、近隣の事業所を訪問して周知を図りたい。  
 (商工業振興課)

令和2年度熊谷市一般会計補正予算(農林水産業費・商工費)について

**問** 「総合戦略」住宅リフォーム資金補助事業について、補正予算額の算定方法を伺いたい。

**答** 本年度の上半期で既に昨年度1年分の申請があったため、これを勘案し、残りの期間の件数を見込んで算出したものである。

**問** 個店連携応援事業について、今回の補正予算を含めて、市内経済への波及効果はどの程度であると考えているのか伺いたい。

**答** 市内経済への波及効果については、交付決定額から、総事業費にして1300万円ほどになるものと推計される。  
 (商工業振興課)

**問** 「スマートシティ」スマート農業実証事業について、補助事業の詳細を伺いたい。

**答** 県の育成品種の特性に対応し、夏の高温環境でいかに効率よく栽培するかという課題に対し、各ほ場に設置する水位・水温センサーで水管理を自動化して品質向上と省力化の実証を行い、さらに、データ化した数値を見える化することで県、農業者等で共有し、農業の能率改善に努めるものである。  
 (農業振興課)



## 市民福祉常任委員会

委員長 理裕  
副委員長 鈴木 久保 夫  
委員 桜井 くるみ 照新一 夫  
委員 大久保 久夫 澤屋 淳二  
委員 大森 野守 賢 小田 中

熊谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

**問** 賦課限度額が上がることで生じる影響について伺いたい。

**答** 令和2年9月末のデータによる試算では、影響を受ける世帯は、基礎課税分が266世帯、介護納付金分が67世帯で、金額は合計で529万4800円の増となる。

(保険年金課)

公の施設の指定管理者の指定について(熊谷市立健康スポーツセンター)

**問** 当該団体を選定した理由について伺いたい。

**答** サービスを向上させるための方策、併せてサーモグラフィによる体温計測の導入などの新型コロナウイルス感染症対策においても、評価が高かったことが主な理由である。

(健康づくり課)

公の施設の指定管理者の指定について(熊谷市立葬斎施設)

**問** 現在市が行っている全ての業務

を指定管理者が行うのか伺いたい。

**答** 施設の大規模な修繕や改修工事、熊谷市斎場予約システムの運用保守などを除いて、施設の維持管理、運営などの業務を指定管理者に行わせることとなる。

(葬斎施設)

令和2年度熊谷市一般会計補正予算(民生費・衛生費)について

**問** 母子家庭等自立支援給付事業について、利用者の推移と、資格を取得できなかった場合に返還義務はあるのか伺いたい。

**答** 平成29、30年度は19名、令和元年度は21名で、現在は22名がこの制度を利用している。この給付は資格取得のための修学期間中の生活費も加味しているので、資格取得ができなかった場合でも返還を求めるとはならない。

(こども課)

**問** 「STOPコロナ」医療機関支援事業について、医療機関からの申請は必要なのか伺いたい。

**答** 交付対象となる医療機関を全て把握できないので、医療機関からの申請を求める予定である。

(健康づくり課)

## 都市建設常任委員会

委員長 腰塚 菜穂子  
副委員長 山下 一男  
委員 田岡 勝美  
委員 福富 須永 信吾  
委員 関 権 口田 弥生  
委員 田 権 清志

公の施設の指定管理者の指定について(江南総合公園)

**問** 当該団体の選定理由について伺いたい。

**答** 豊富な管理の実績を生かし、安定的、効率的な運営が見込まれることや提案されている自主事業が実施可能と判断したため選定するものである。

(公園緑地課)

令和2年度熊谷市水道事業会計補正予算について

**問** 配水管布設事業および配水管改良事業については、当初予算ではなく債務負担行為で行う理由を伺いたい。

**答** 債務負担行為の設定については、4月以降の契約手続きを行う場合、下半期に工事が集中してしまうため、令和2年度内に契約を行い、令和3年度当初から着工することで施工時期の平準化を図るためである。

(水道課)

令和2年度熊谷市下水道事業会計補正予算について

**問** 債務負担行為で行う管渠布設事業の管渠の延長は、どの程度を予定しているか伺いたい。

**答** 工事を2カ所予定しており、それぞれ461メートルと177メートルを予定している。

(下水道課)



江南総合公園